

ホールボディカウンタ（WBC）測定 生活アンケート調査 結果報告



NPO法人ふくしま30年プロジェクト

人数

女

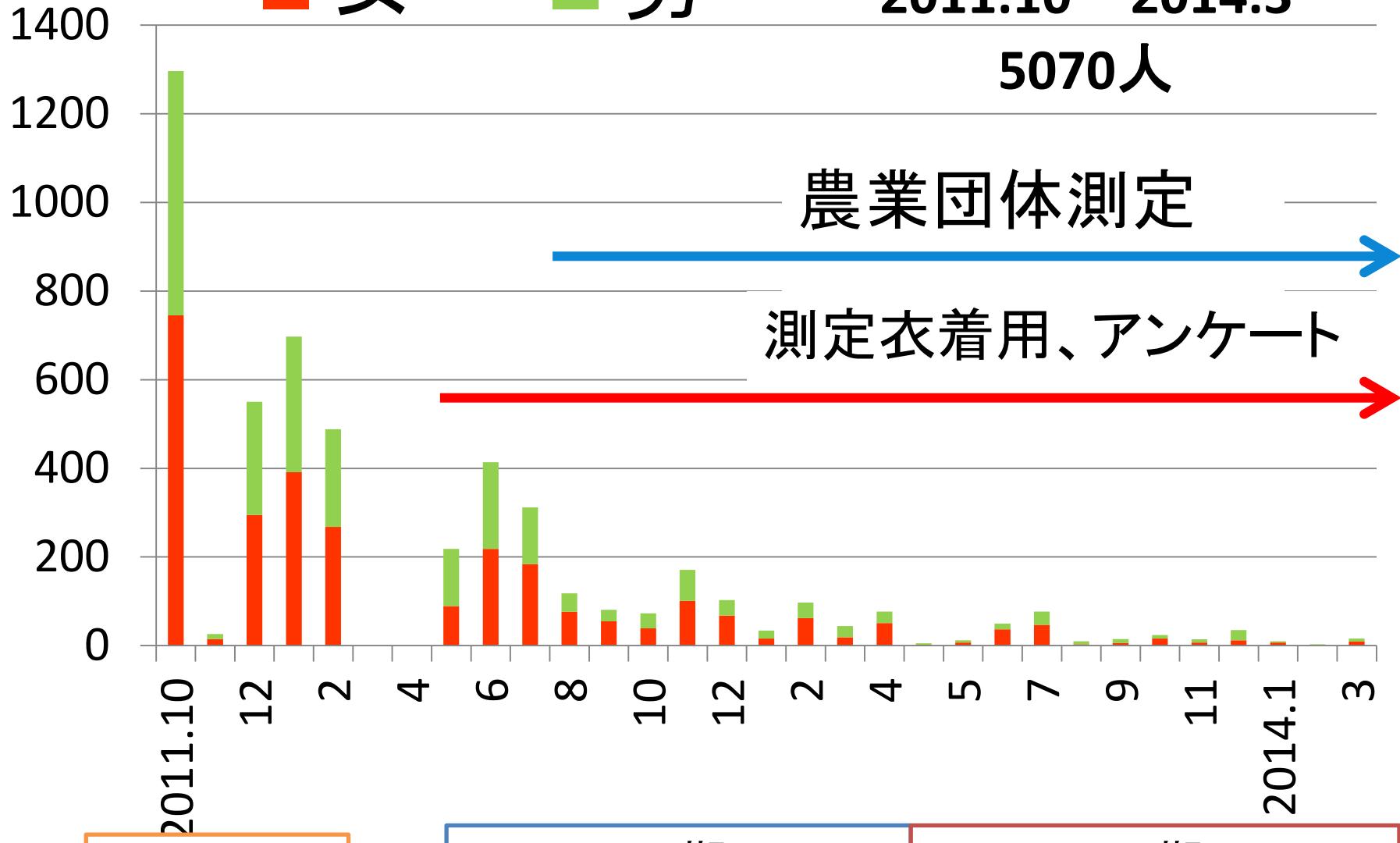
男

測定を受けた方の月推移 2011.10～2014.3

5070人

農業団体測定

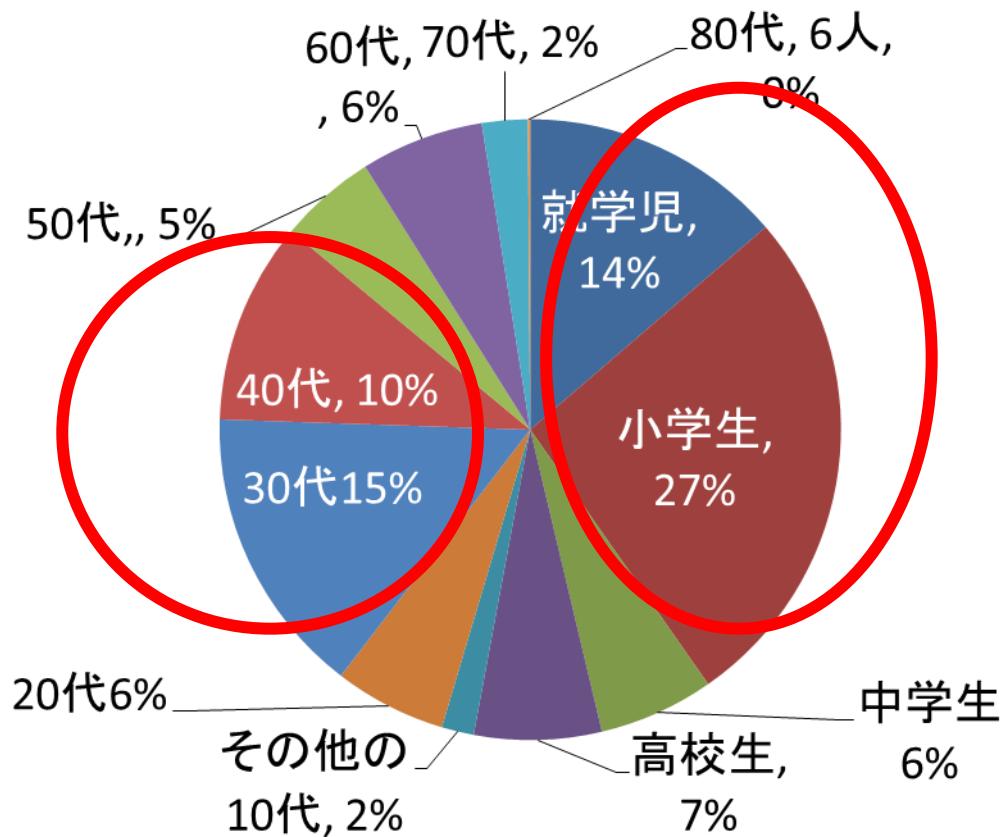
測定衣着用、アンケート



I 期(180秒測定)

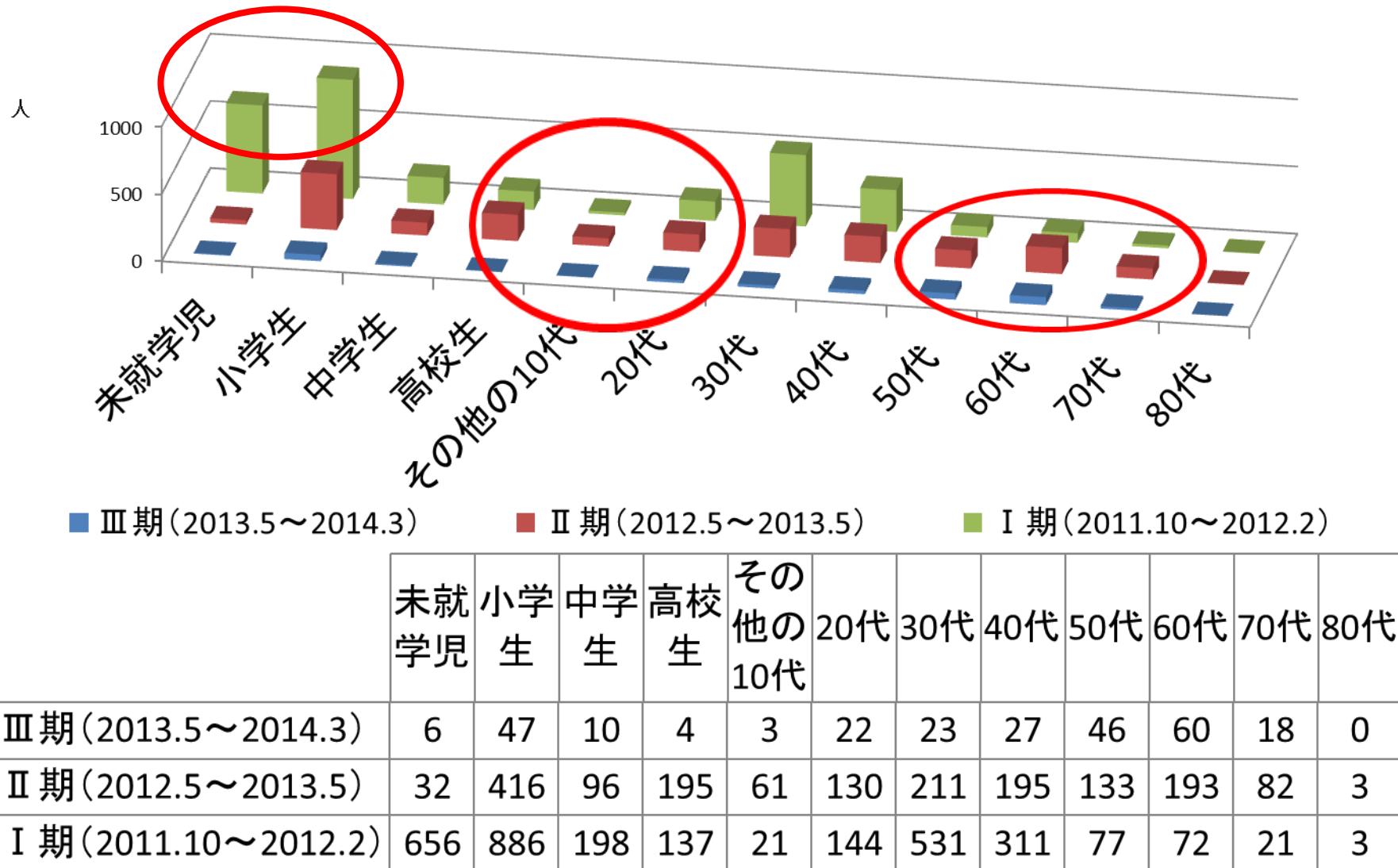
Ⅱ期 300秒測定

Ⅲ期 600秒測定

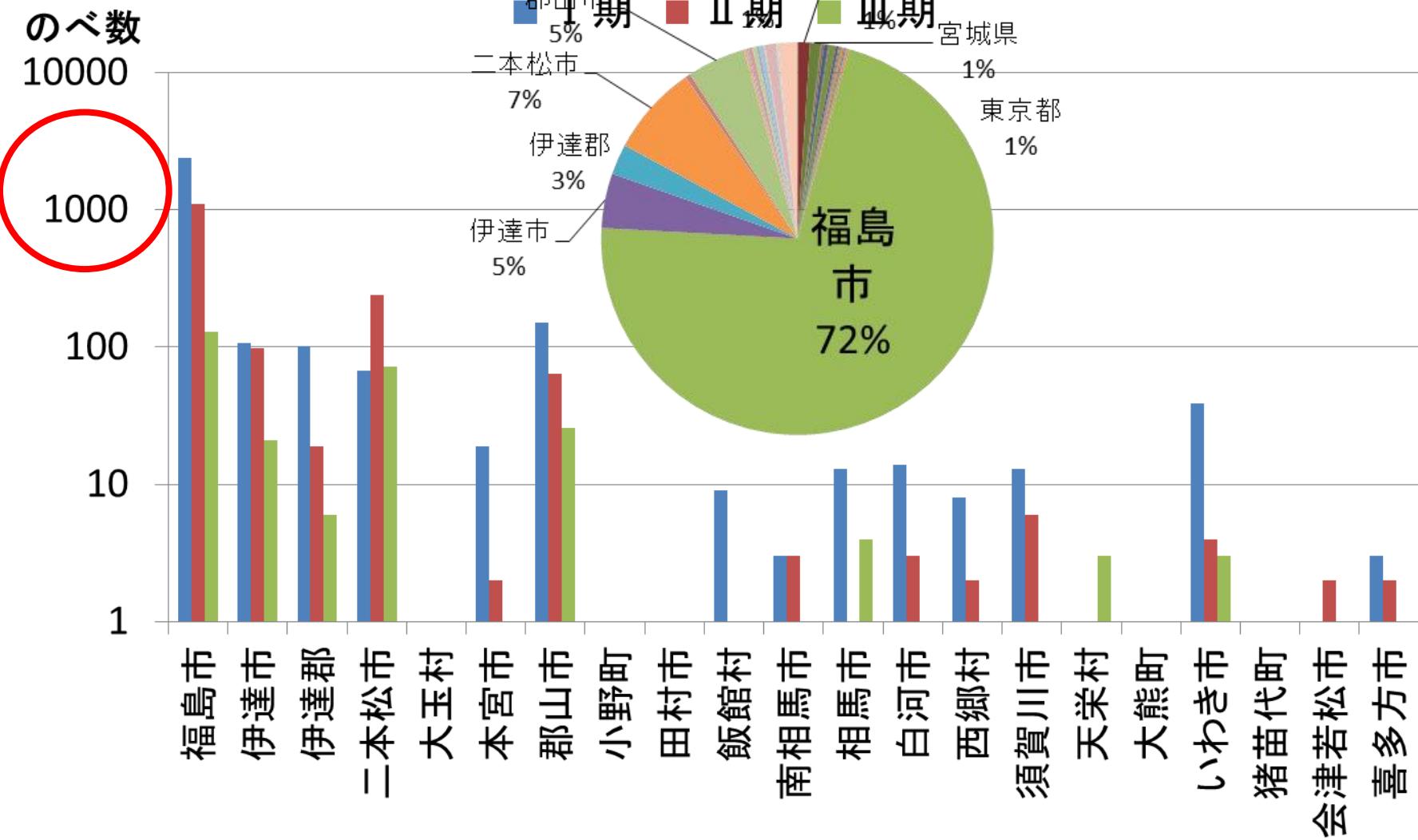


- 20才未満者は、総数の53.5%
総数5070人 男性43.9% 女性56.1%

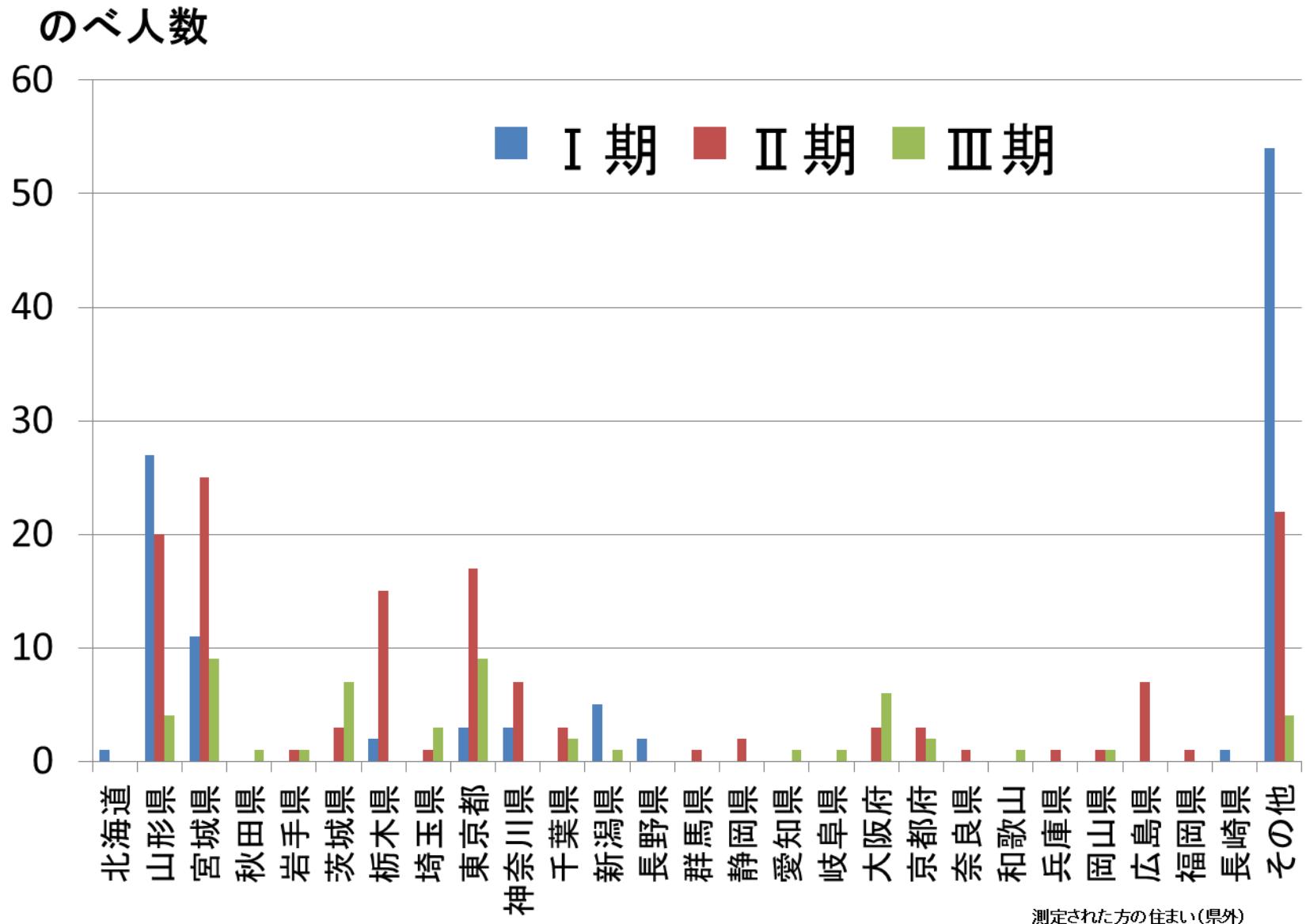
測定時期ごとの年代別のべ数



2011.10～2014.3 測定された方の住まい(県内)



福島市居住者が全体の7割を占める



AT1316Naシンチレーター

検出限界

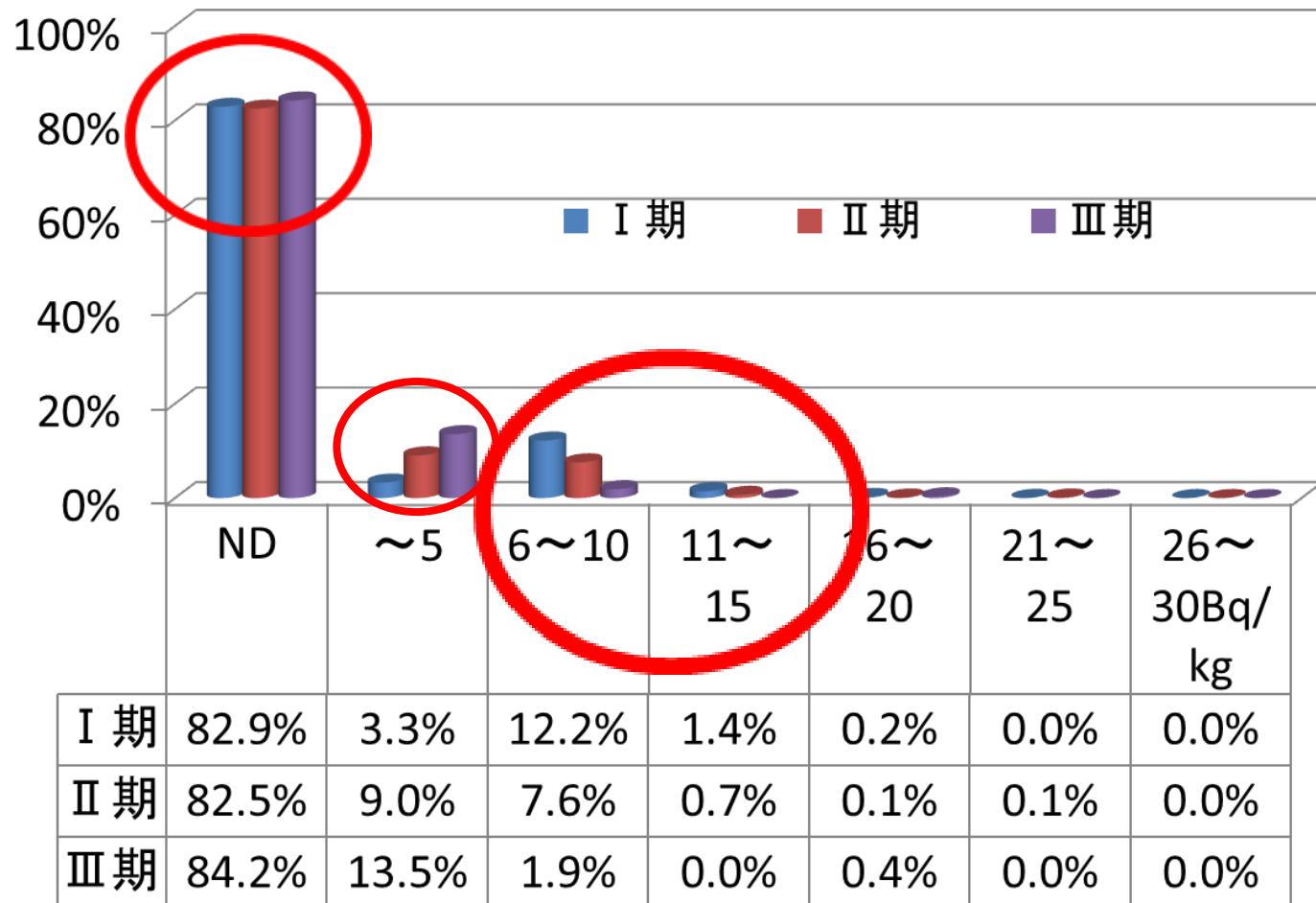
	学年 年齢	小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3
		6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
女	身長	116	122	127	133	140	147	152	155	157	157	158	158
	体重	21	24	26	30	34	39	44	47	50	52	53	53
180秒	Cs137	153	164	175	190	205	222	239	251	260	266	269	270
	Cs134	130	140	150	163	176	190	205	216	223	228	231	232
300秒	Cs137	107	116	124	135	146	159	171	181	187	192	194	195
	Cs134	94	101	108	117	127	138	148	156	162	165	167	168
600秒	Cs137	76	82	88	96	104	113	122	129	133	137	138	139
	Cs134	67	72	77	83	90	98	105	111	115	118	119	119
男	身長	117	122	128	134	139	145	152	160	165	168	170	171
	体重	21	24	27	31	34	38	44	49	54	59	62	63
180秒	Cs137	155	167	180	194	207	221	239	252	266	281	286	291
	Cs134	132	142	154	166	177	189	205	216	229	241	246	250
300秒	Cs137	109	118	127	138	147	158	172	181	192	203	207	111
	Cs134	95	102	111	120	128	137	148	156	165	174	178	181
600秒	Cs137	77	83	90	98	104	112	122	129	137	144	147	150
	Cs134	68	73	79	85	91	97	106	111	118	124	127	129

※検出率 Cs134欄=Cs137.134の両方または片側検出された率

Bq/Kg	I期		II期		III期	
	Cs137	Cs134	Cs137	Cs134	Cs137	Cs134
検出率	17.1%	18.3%	17.5%	20.8%	15.8%	17.3%
最大値	23.8	19.3	24.0	14.7	18.7	9.9
中央値	6.5	5.2	4.9	3.8	3.5	2.7
平均値	7.0	5.7	5.6	4.3	4.3	3.2

- 中央値、平均値とも低下傾向
- セシウム137が20ベクレル/kg超える方は3名だけ

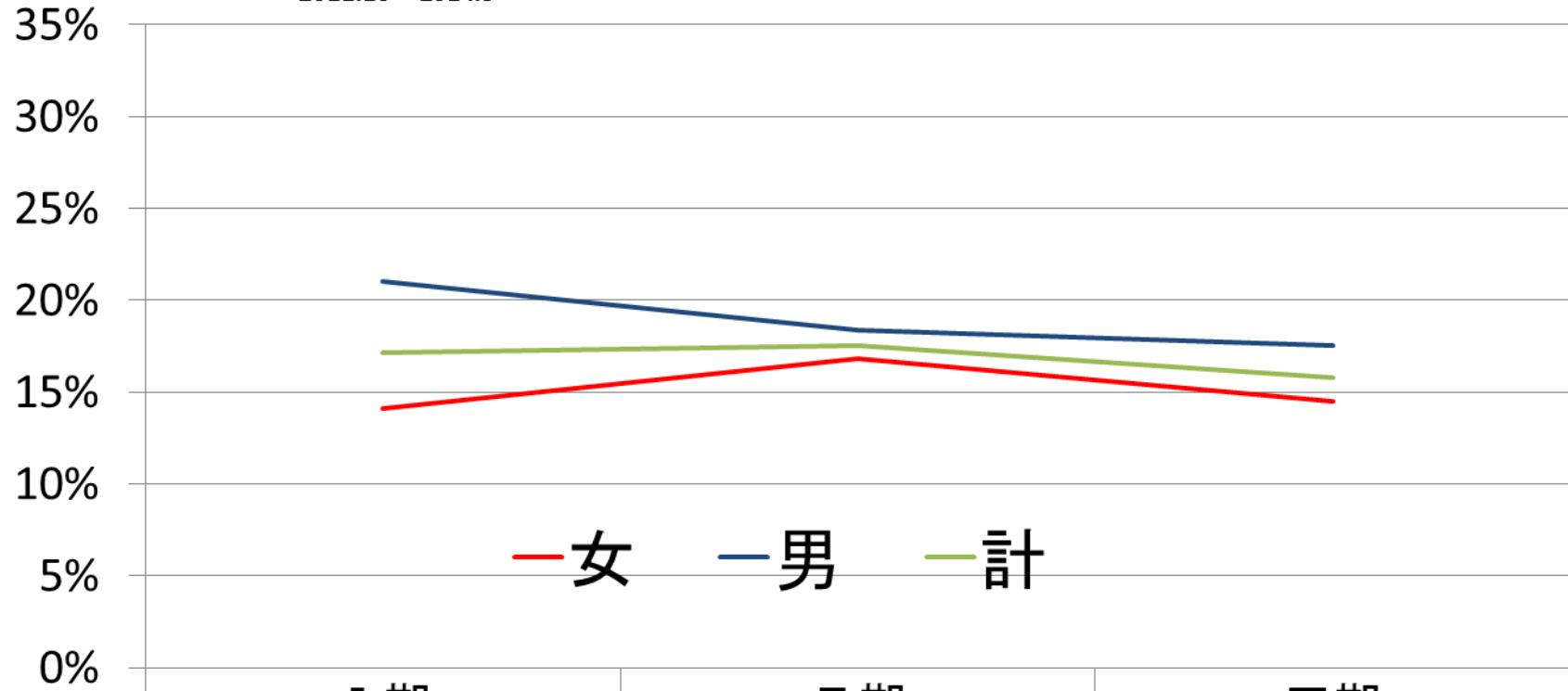
測定時期ごと、セシウム137の量別割合



- セシウム137の検出割合は、全期で17.2%
- 6ベクレル/kg以上は低下しているが、高い人がどの時期にもみられる

セシウム137の検出率

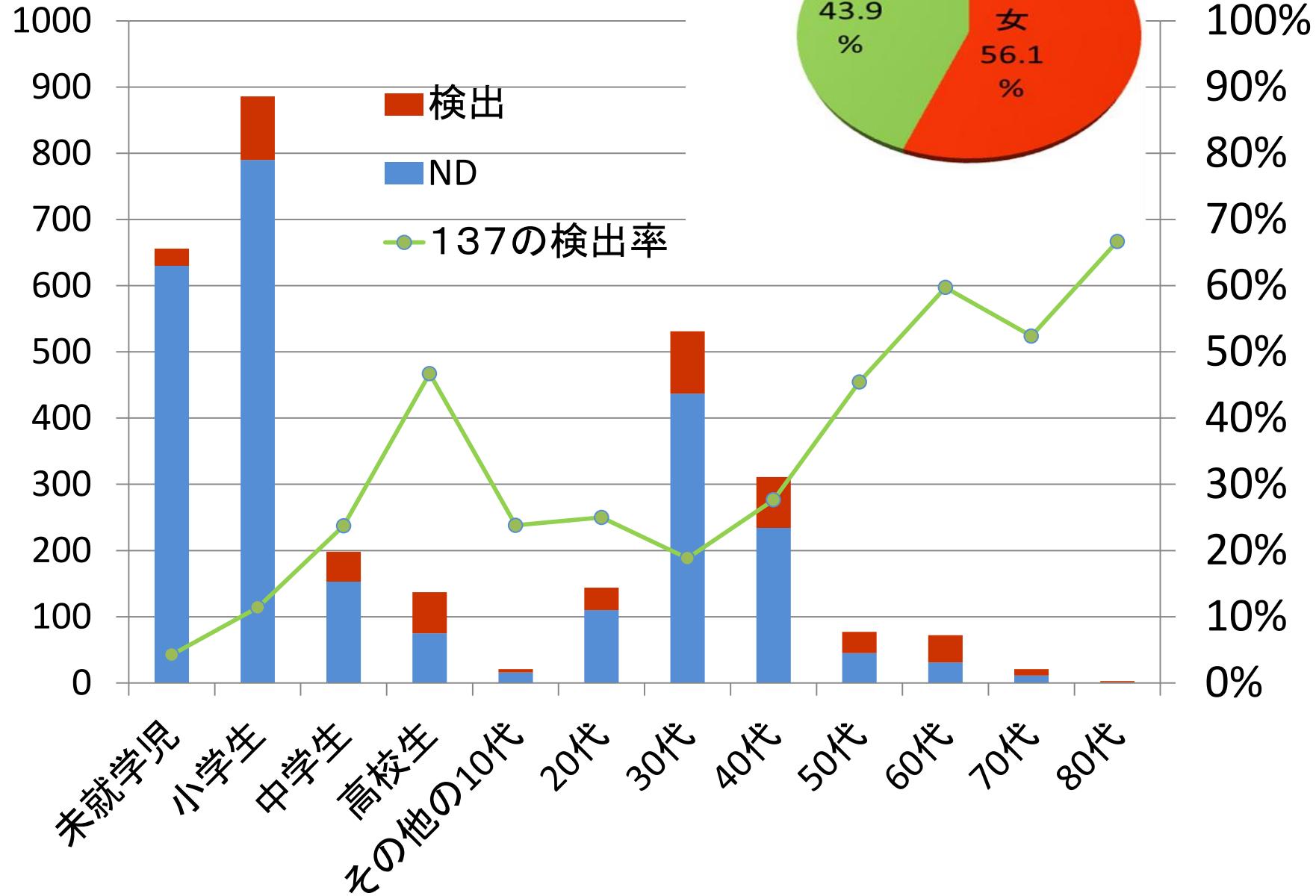
2011.10～2014.3



男性の検出率は若干高め

人数

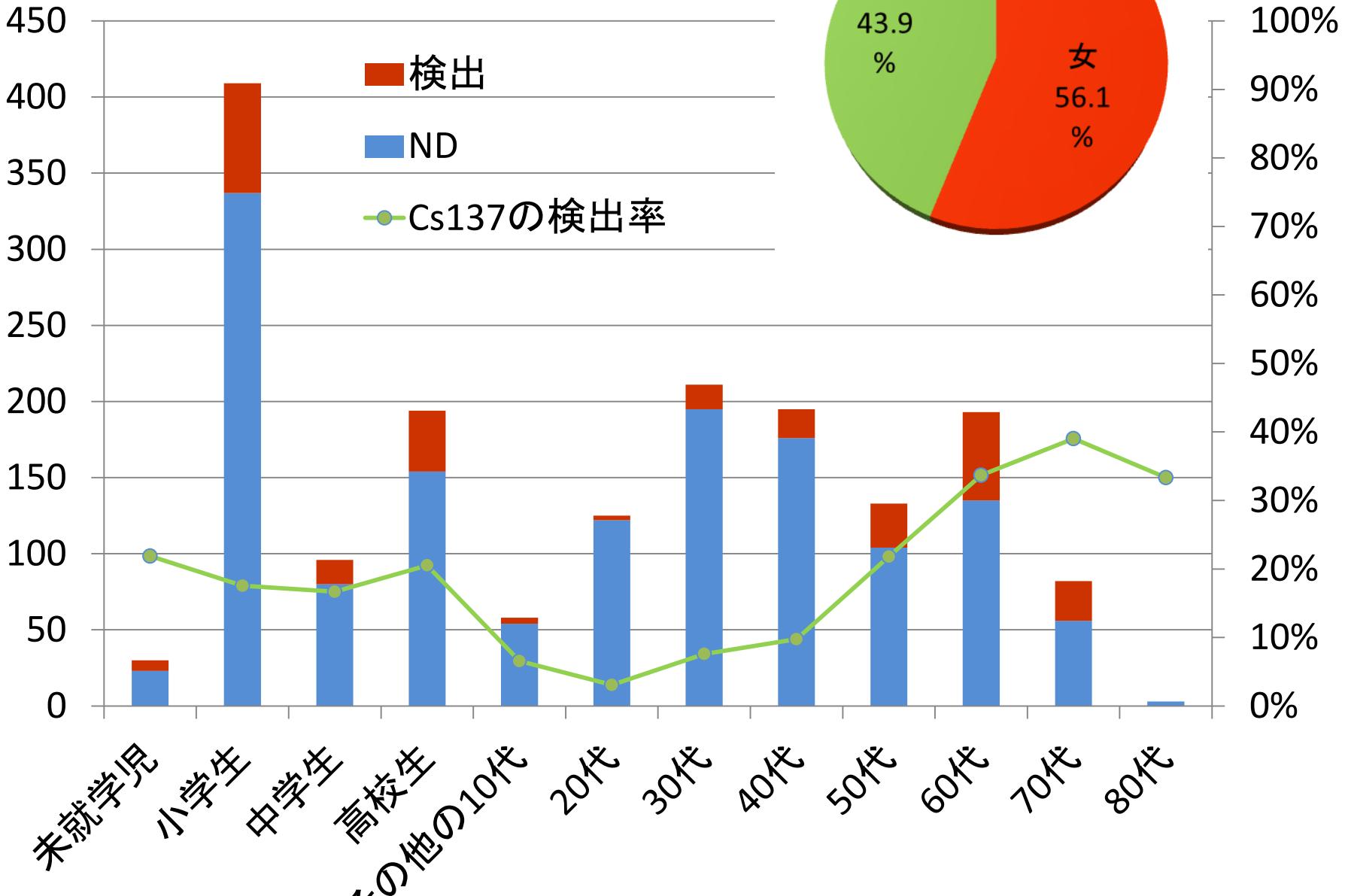
I 期

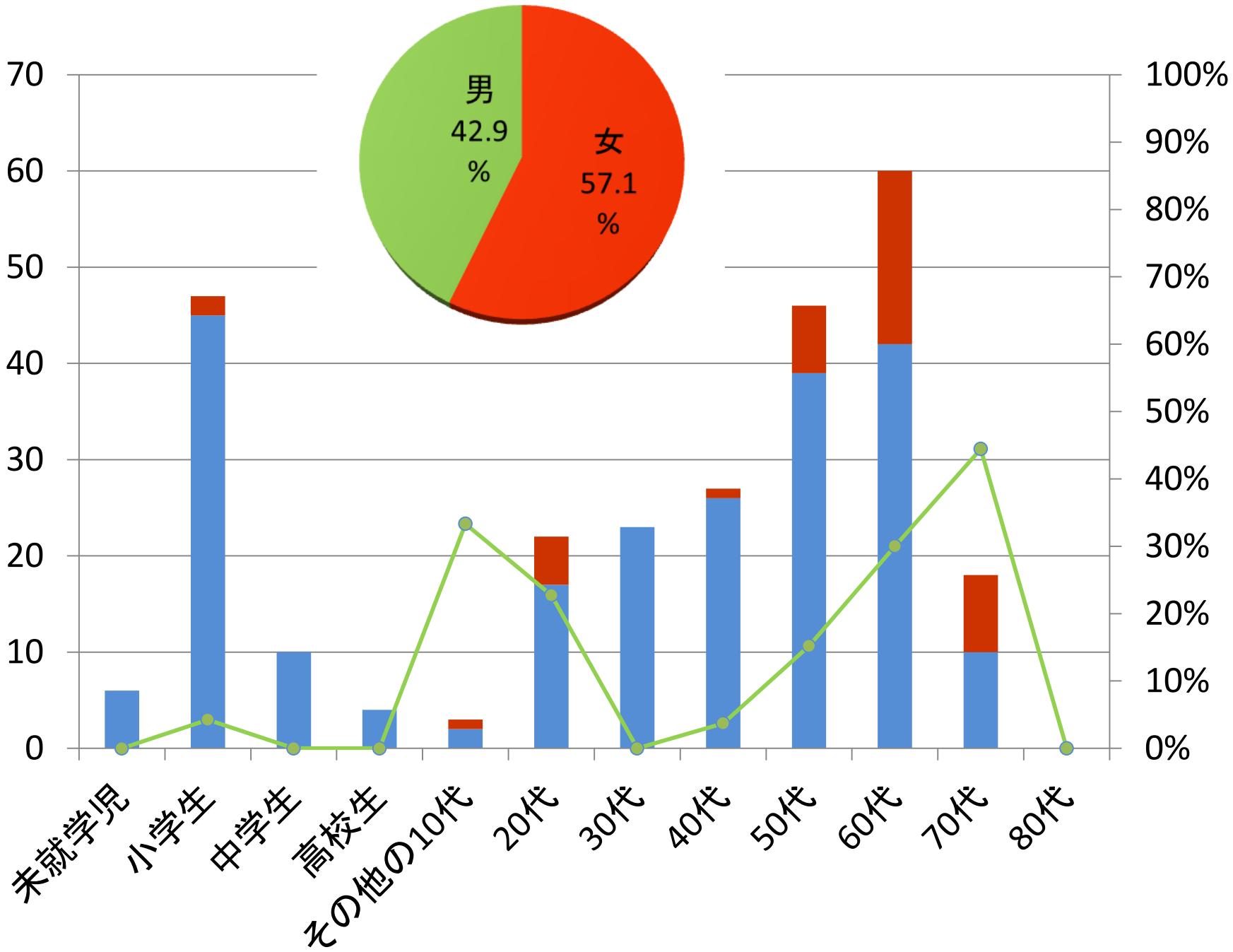


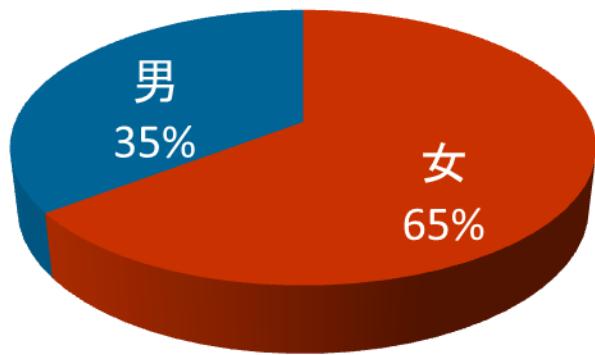
Ⅱ期測定

人数

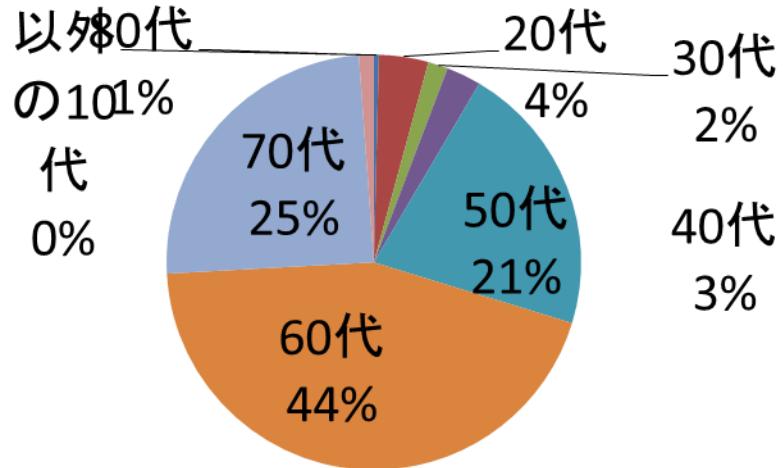
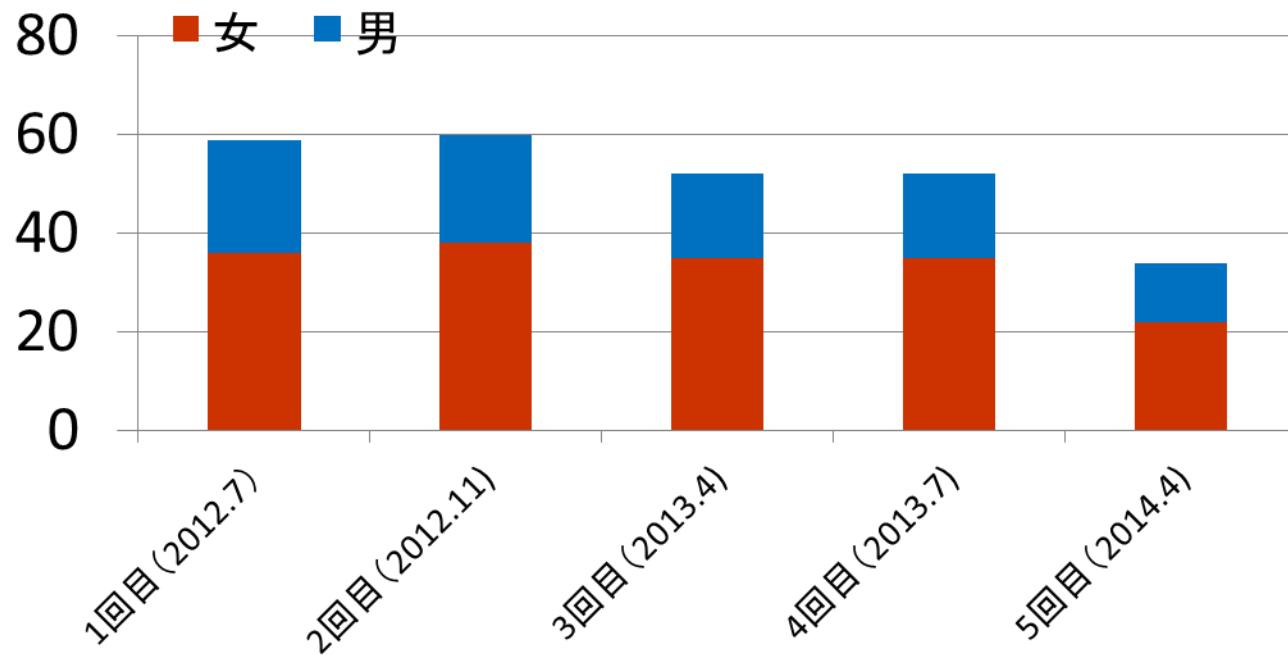
Ⅱ期



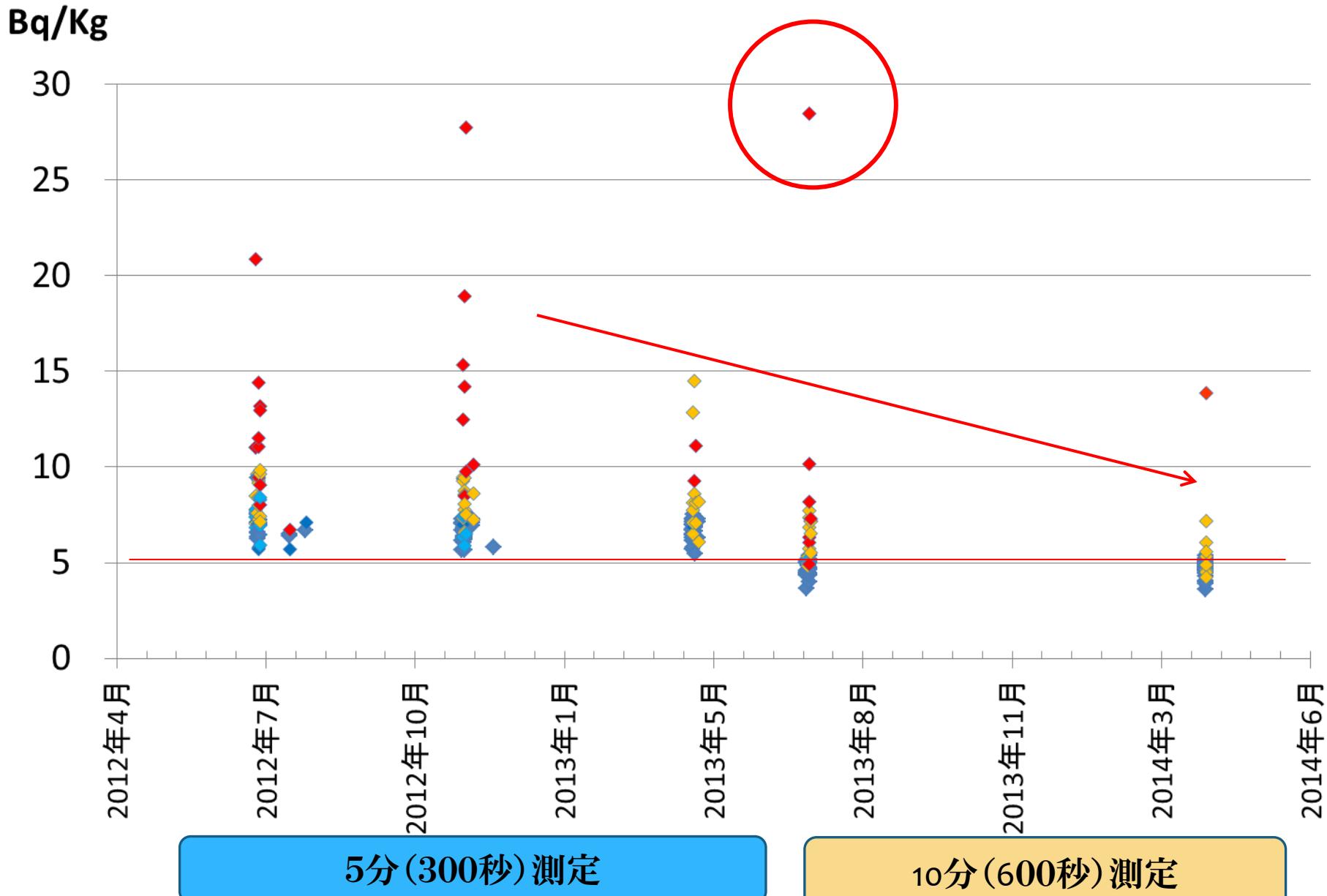


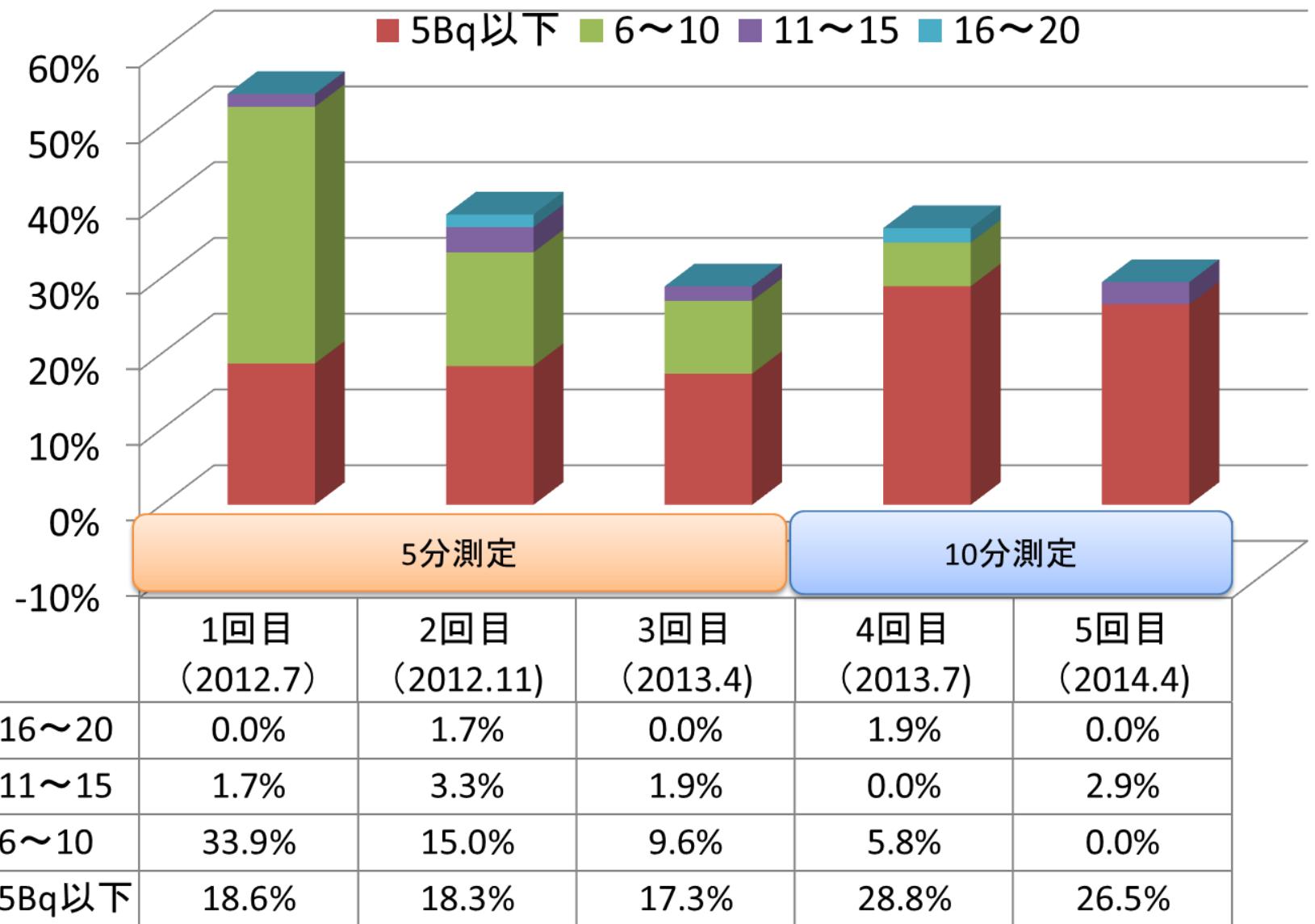


人数



セシウム検出分散

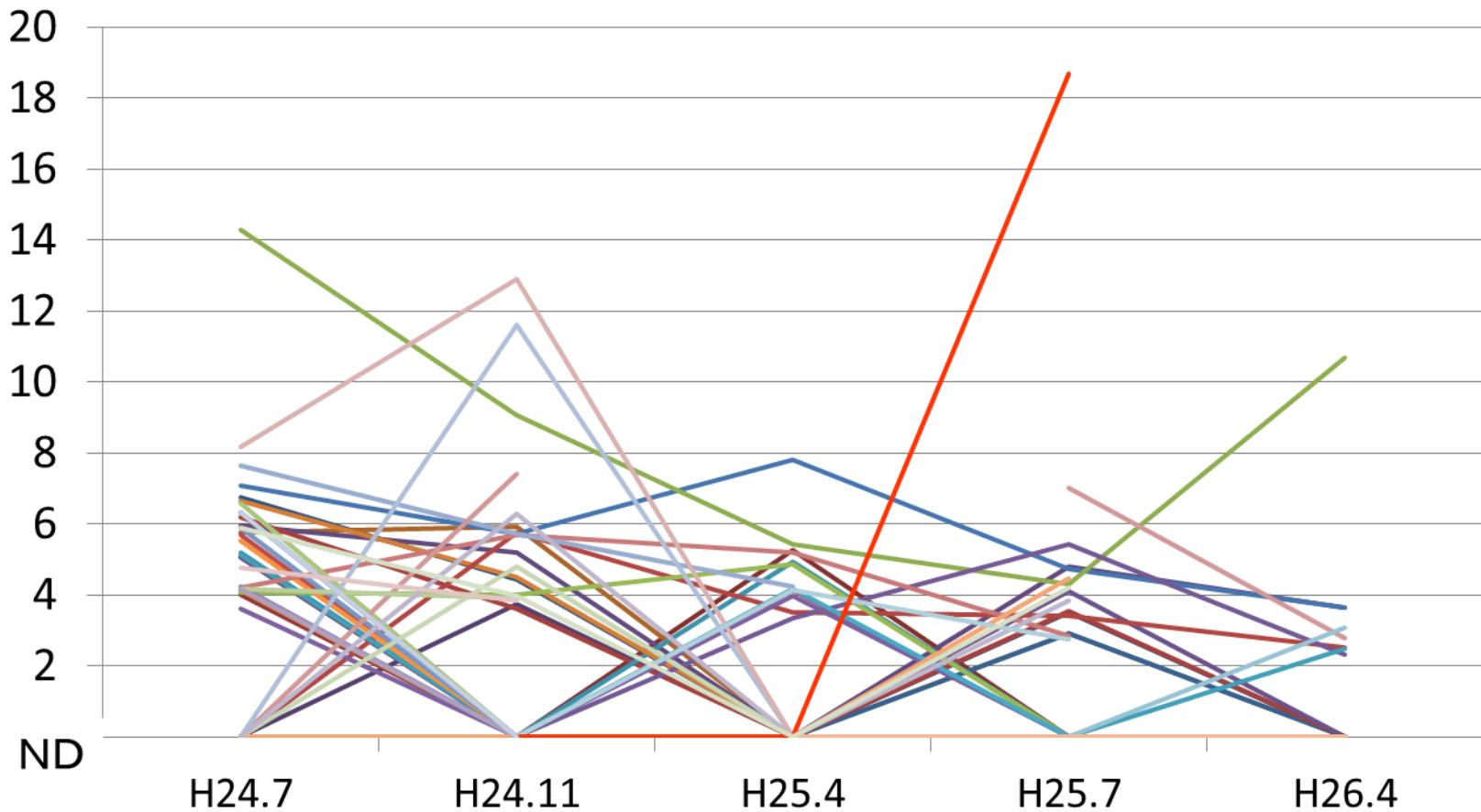




- 6ベクレル/kg以上の方は確実に低下
- あらたな取り込みはすくない

Cs137
Bq/Kg

3回以上測定された方の推移

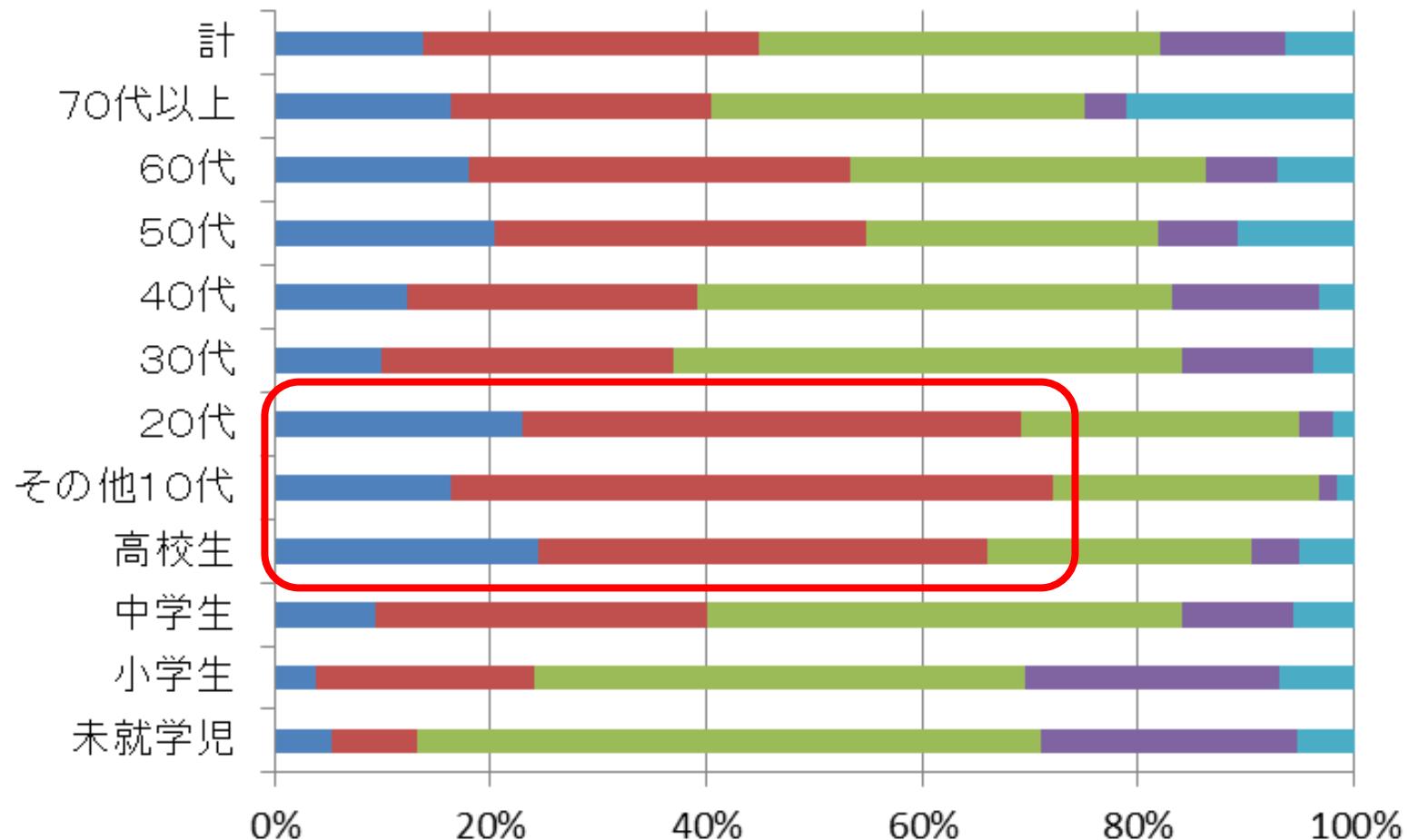


定期的測定が必要

生活アンケート結果

不必要な外部被ばくを避けるようにしていますか？

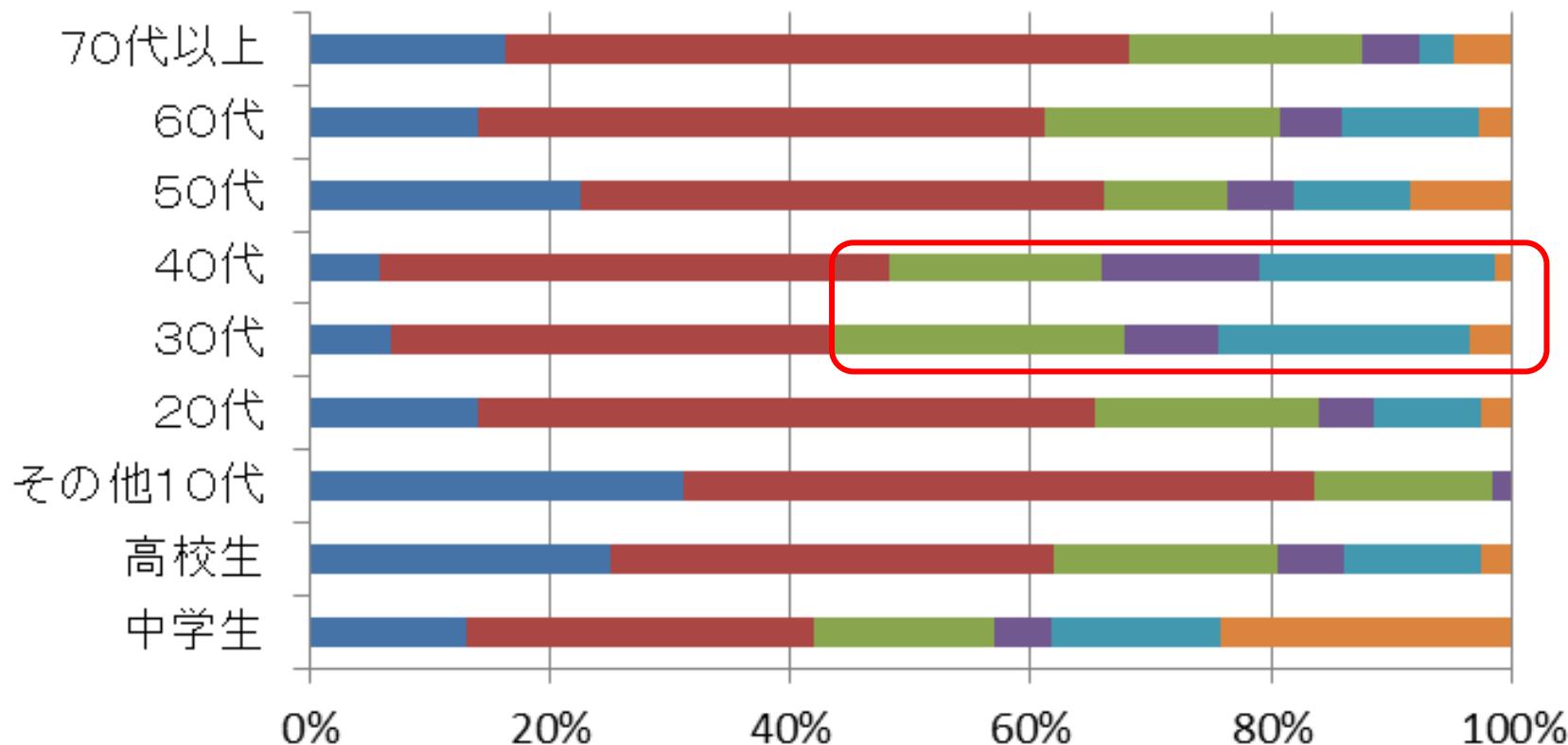
■まったくしていない ■あまりしていない ■多少している ■大いにしている ■未記入



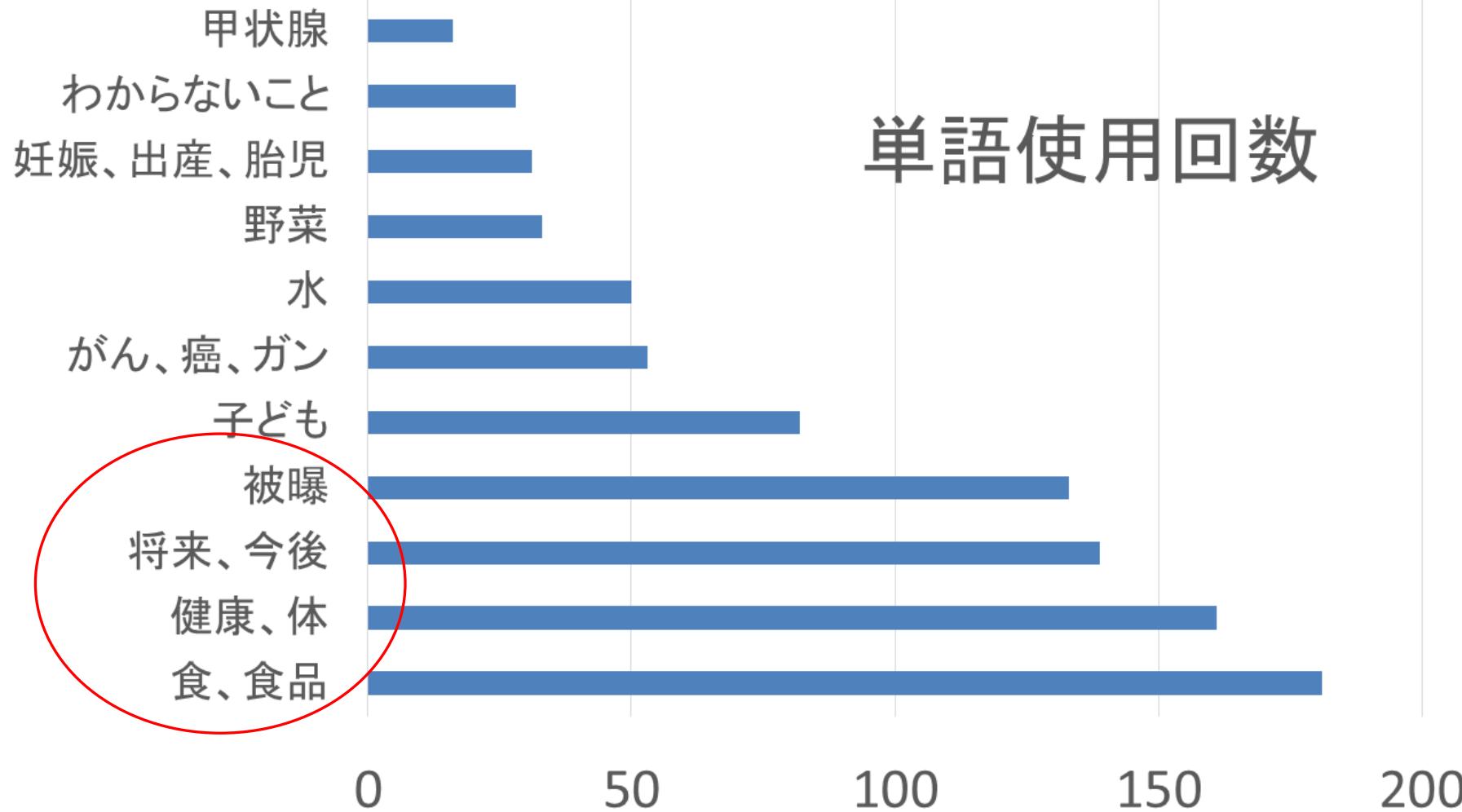
内部被ばくについて心配なことはありますか

内部被ばくについて心配なことはありますか

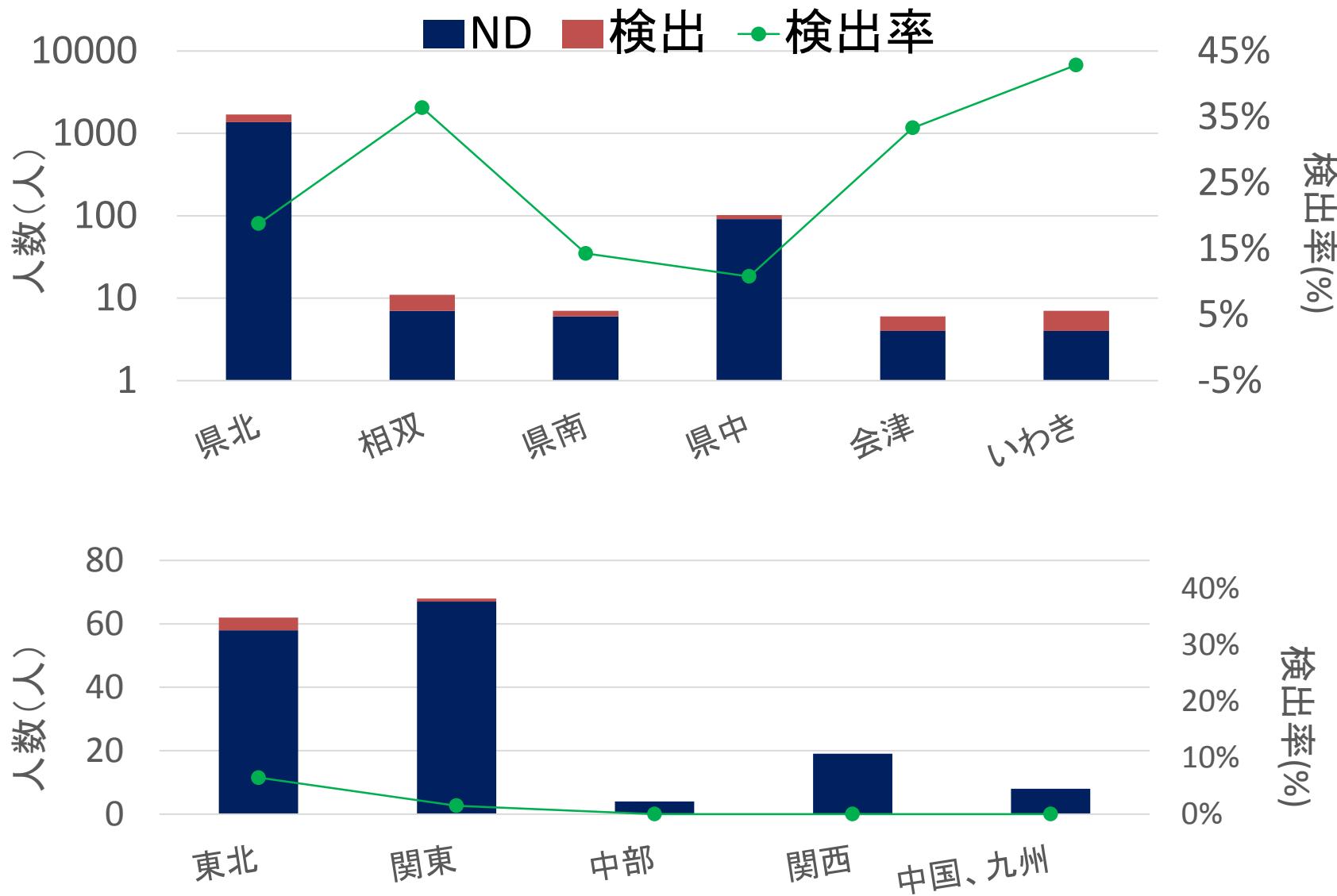
■ まったくない ■ 少しある ■ ある ■ よくある ■ 非常によくある ■ 未記入



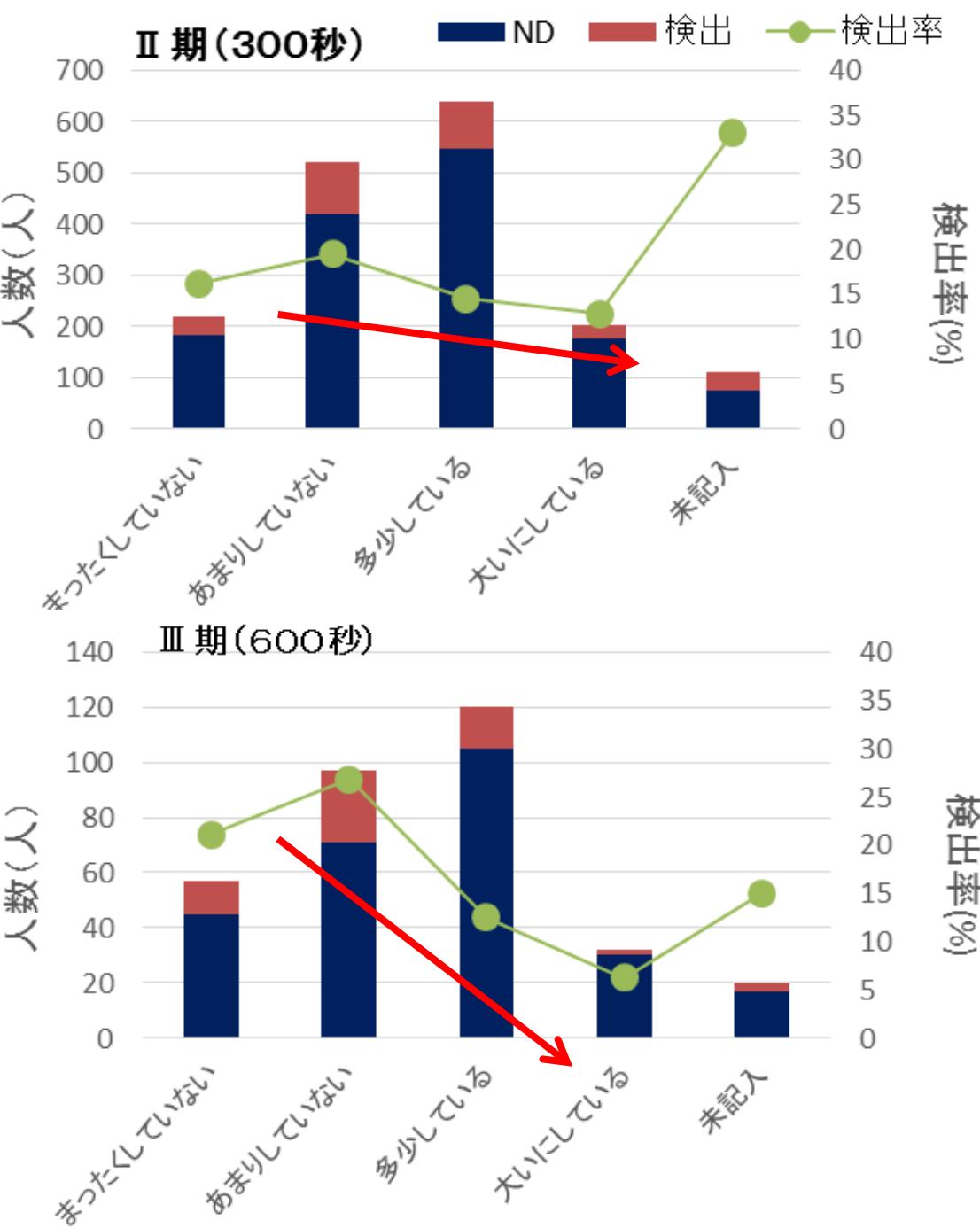
その心配はどのようなことですか



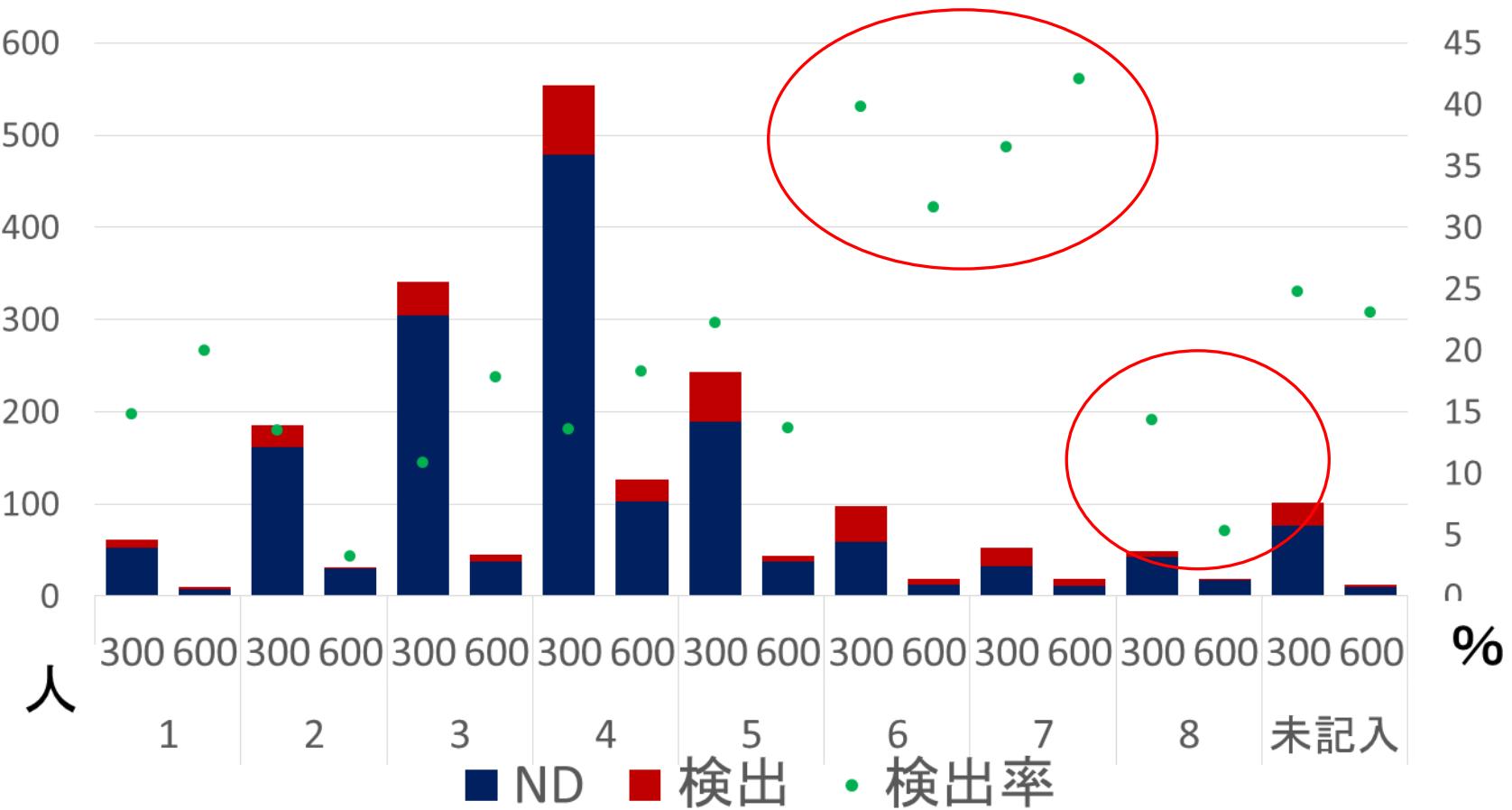
地域別 セシウム137検出



不必要的 外部被ばくを 避けるように していますか？



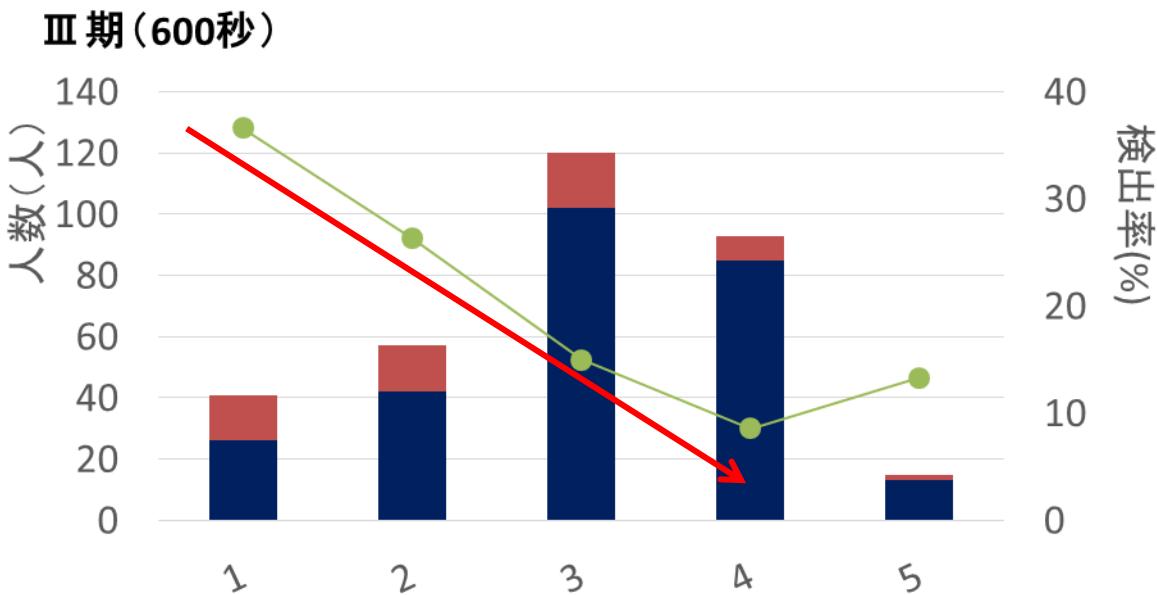
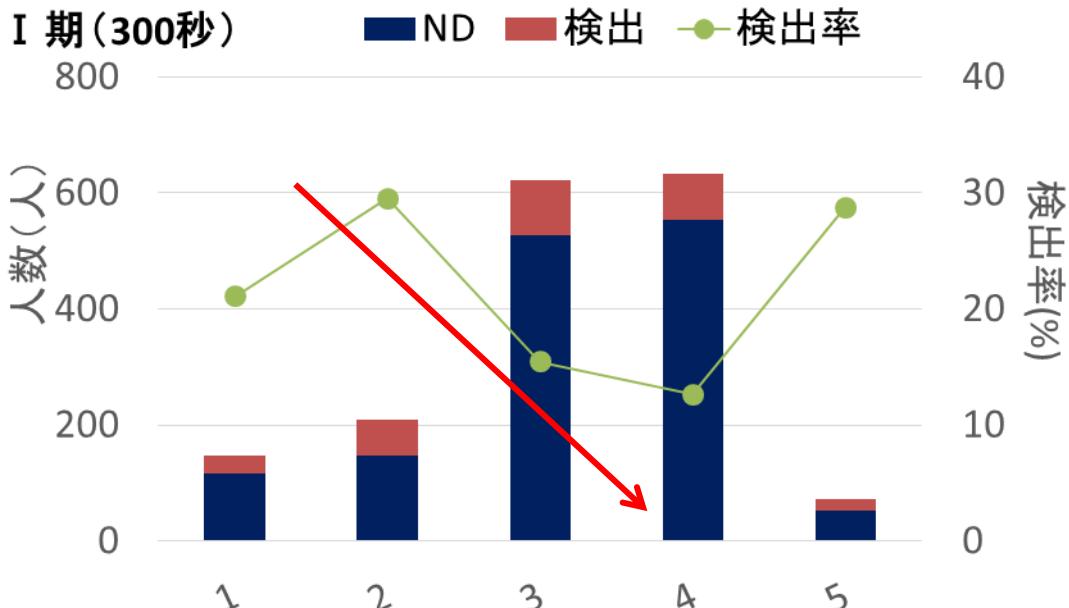
一日の屋外活動時間とセシウム137検出



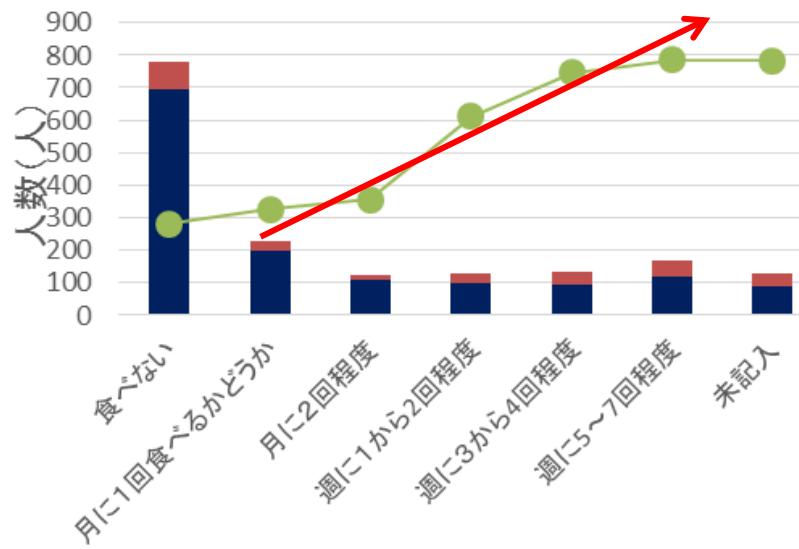
1 10分未満 2 30分未満 3 1時間未満 4 3時間未満
5 5時間未満 6 7時間未満 8 9時間以上

食料品を買うとき 産地を 気になりますか？

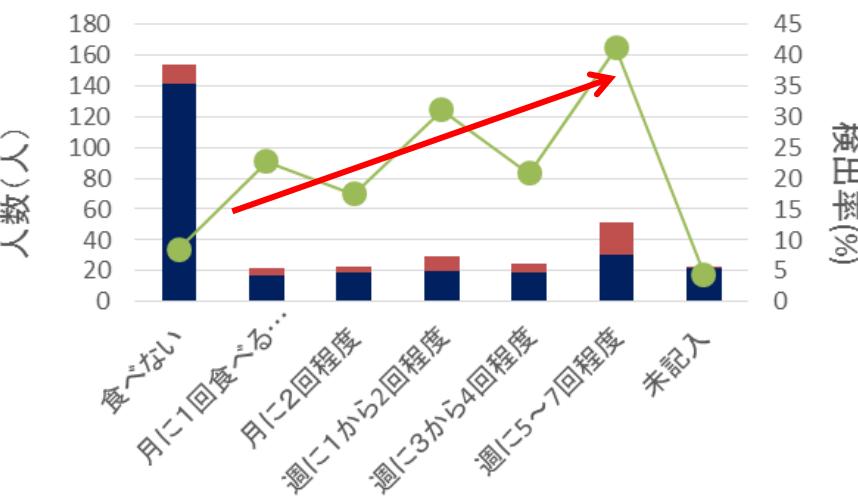
- 1 まったくしていない
- 2 あまりしていない
- 3 多少している
- 4 大いにしている
- 5 未記入



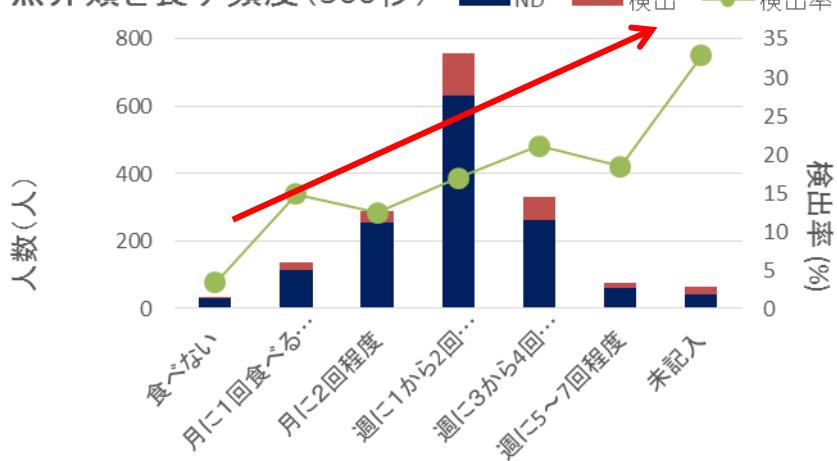
自家製野菜を食べる頻度(300秒)



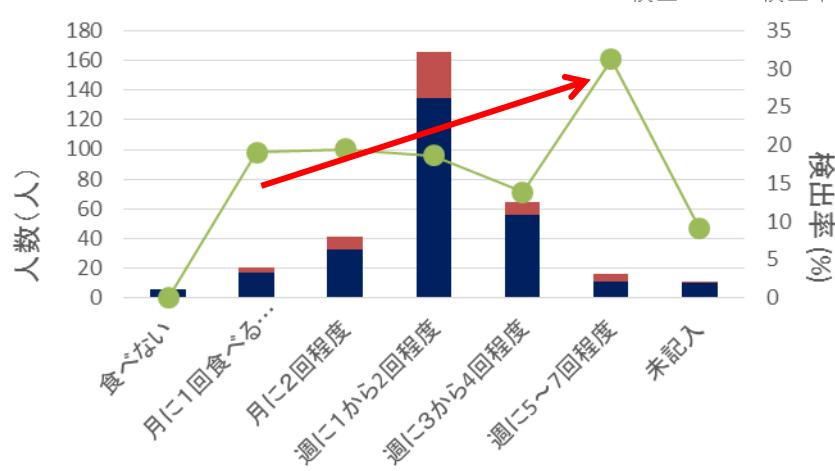
自家製野菜を食べる頻度(600秒)



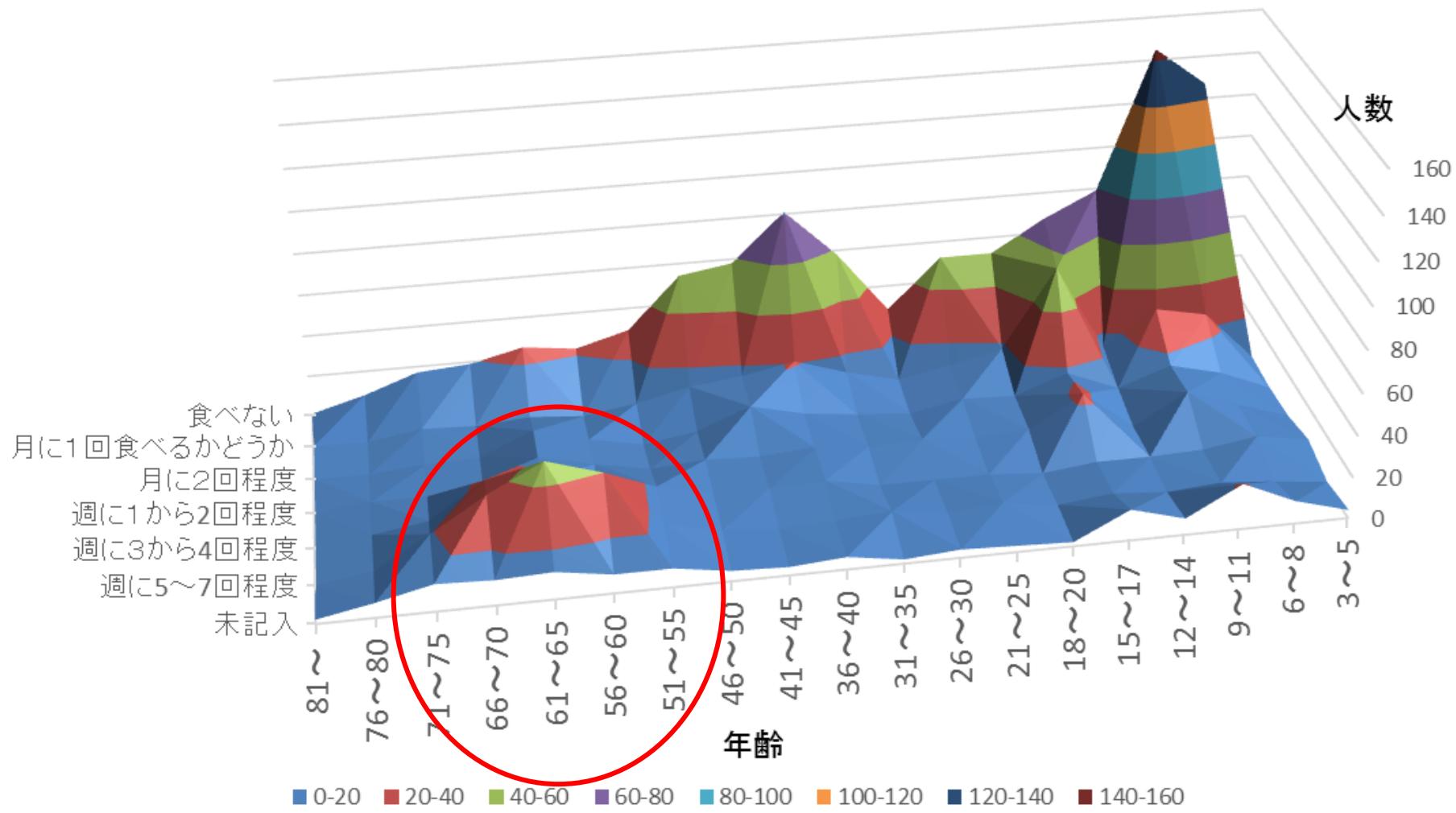
魚介類を食す頻度(300秒)



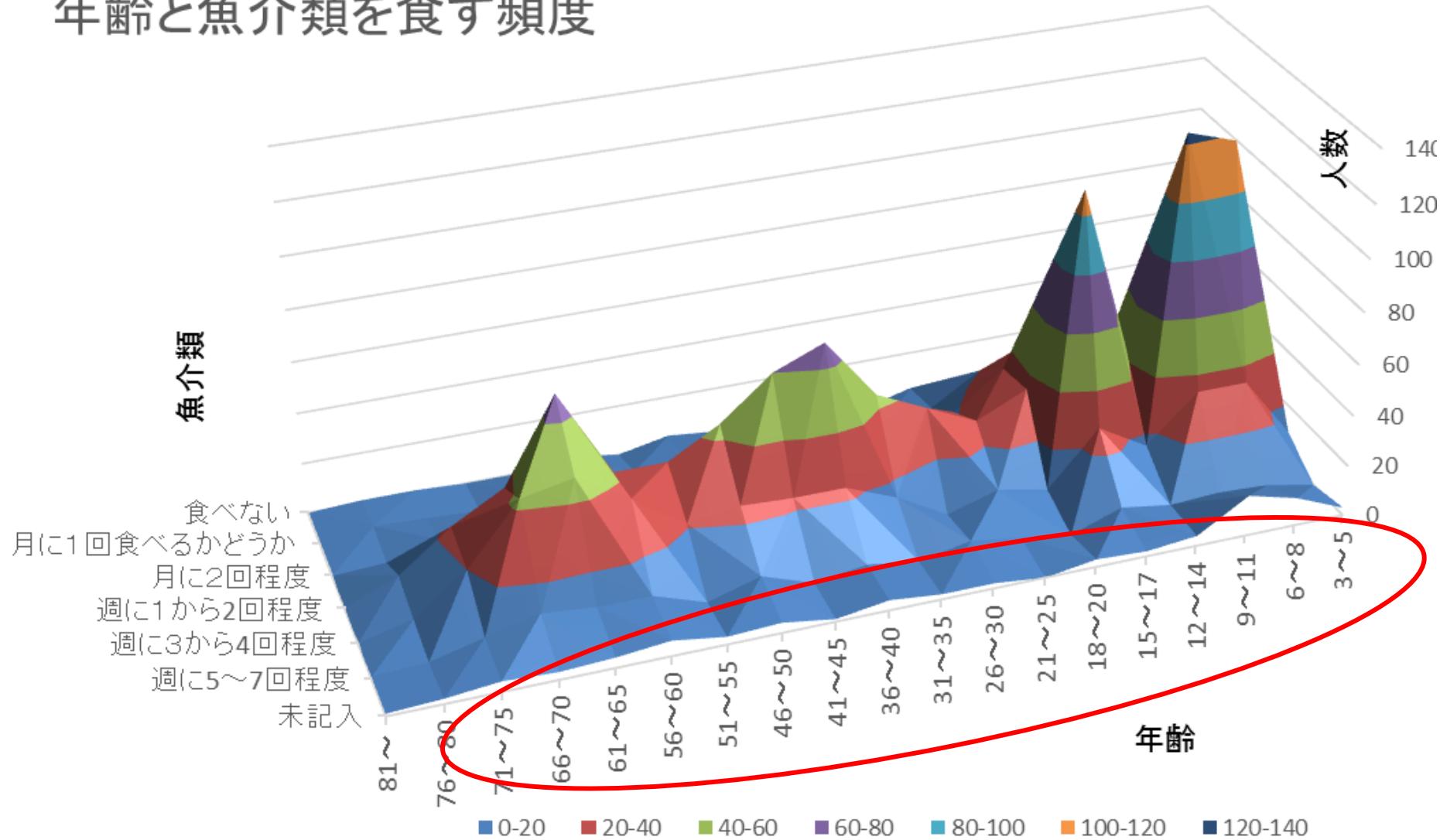
魚介類を食す頻度(600秒)



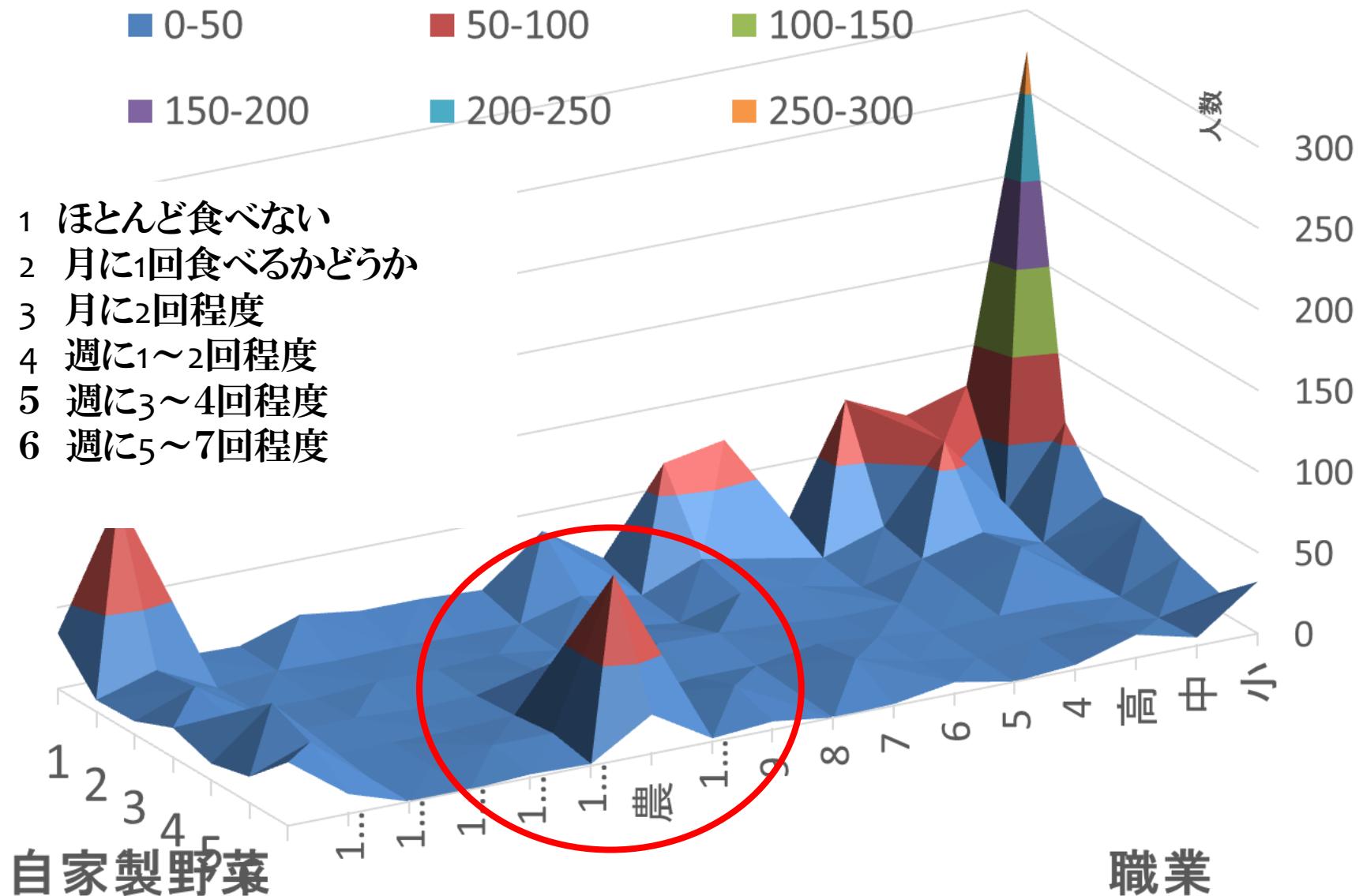
年齢と自家製野菜



年齢と魚介類を食す頻度



職業と自家製野菜を食べる頻度の関係



結 果

WBC測定

全体としては、あらたに取り込みは少ない
高い数値の方がときおりみられる
定期的測定が必要

アンケート

放射線防護意識が低い年代は高校生から20代と50歳代以上
空中飛散物からの影響は少ない
魚、自家製野菜の摂取頻度が関係
内部被ばくを避ける意識と摂取に気を配る
そのために必要な知識を持つ

課題

- リスクの高い方を継続測定を行うことにより、体内放射能量の増加を防ぐ。
- 検出された方に対して、生活の仕方や食習慣などについて個別に対応する。
- 防護意識の低い10代後半から20代、検出率の高い50代以後の方の測定を促す。
- 定期的・継続的測定の必要性に対する認知度を高める。

他の検査機関と連携し
防護意識の低い方の内部被ばく評価が必要